

沖縄、琉球大学瀬名波先生の研究室を訪問



海という資源に恵まれた沖縄県では、その特徴を活かしたバイオマスの活用が有効で海洋には様々な種類のバイオマス資源候補がある中、琉球大学工学部の准教授瀬名波出(せなはいずる)氏は比較的大型な藻類である海藻を題材に研究に取り組んでいる。火力発電所やゴミ焼却場から排出される大量のCO2を海水に効果的に溶解させ、その海水を用いて海藻を培養、バイオ燃料に変換したり、水産品、その他の商品を生産する研究を進めているそうです。12月11日EVI加藤が訪問させていただき施設の見学や研究の説明をしていただきました、EVIの活動をお話する機会もいただきました。



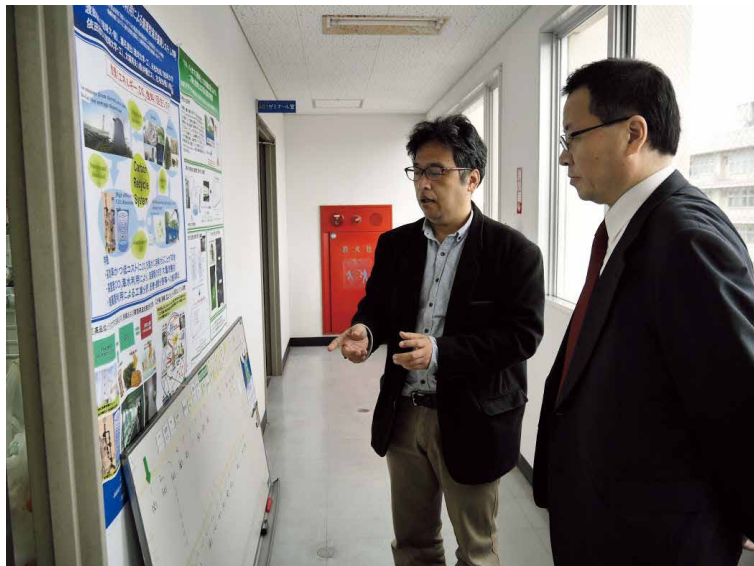
養殖施設



株式会社青い海古我さん、加藤、瀬名波さん



海藻育成槽



バイオテック
山城さん